

日本における明治期までのイソップ関連年表

吉見 孝夫

この稿は、日本におけるイソップ寓話の受容に関わる事実を時系列に沿って羅列したものである。明治期までに限ったのは、この頃までには、イソップの名、イソップ寓話は誰でもが知るほどの国民的知識となっていたからである。1872 年（明治 5）までの月日は旧暦に従う。

1567

- ・ Edward de Dene, Marcus Gheeraerts : *De warachtighe fabulen der dieren* (ブリュージュ、8 月) 刊行 : *Vorstelucke Warande der Dieren* で使われた Gheeraerts (ヘーラルツ) の絵 107 図を載せる。

1578

- ・ Marcus Gheeraerts : *Esbatement moral des animaux* (アントワープ) 刊行 : *De warachtighe fabulen der dieren* のフランス語版。 *Vorstelucke Warande der Dieren* で使われたヘーラルツの絵を新たに 18 図載せる。

1591 (天正 19)

- ・ バレト写本『サントスの御作業』成立 : 仮名草子『伊曾保物語』と共通する 2 話を引用する。
- ・ イエズス会『サントスの御作業の内抜書』(加津佐) 刊行 : 仮名草子『伊曾保物語』と共通する 1 話を引用する。

1593 (文禄 2)

- ・ イエズス会『エソポのハブラス』(天草学林) 刊行 : 日本最初のイソップ寓話集。

1596 (慶長元)

- ・ 慶長元和 (1596 ~ 1624) 間に古活字版『伊曾保物語』無刊記第一種~第七種本刊行。

1603 (慶長 8)

- ・ イエズス会『日葡辞書』(長崎学林) 刊行 : イソップ寓話中の文が例文として 15 箇所引用される。

1604 (慶長 9)

- ・ ロドリゲス『日本大文典』(長崎学林、1604 ~ 1608) 刊行 : イソップ寓話中の文が例文として 90 箇所引用される。

1608

- ・ マテオ・リッチ (利馬竇)『畸人十篇』(北京) 刊行 : イソップ寓話の最初の中国語訳。日本では江戸時代禁書とされるが、平田篤胤が『本教外篇』(1806) に一部を採用する。

1614

- ・ パントーハ（龐迪我）『七克』（北京）刊行：イソップ寓話の中国語訳を含む。日本では江戸時代禁書とされる。

1615（元和元）

- ・ 元和年間（1615 ～ 1624）に『戲言養氣集』刊行：仮名草子『伊曾保物語』に基づいた1話を載せる。

1617

- ・ Joost van den Vondel: *Vorstelucke Warande der Dieren*（アムステルダム）刊行：イソップ寓話を含む動物寓話集。挿絵をヘーラルツが描く。日本にも伝わる。この初版が矢田六兵衛（四如軒）画・山口為範書『影模蘭文古版絵入伊曾保物語』の原本。

1620

- ・ ロドリゲス『日本小文典』（マカオ）刊行：仮名草子『伊曾保物語』中の一文とほぼ同じ文が2箇所引用される。

1625

- ・ ニコラス・トリゴー（金尼閣）『況義』（西安）刊行：イソップ寓話の中国語訳。日本では江戸時代禁書とされる。

1630（寛永7）

- ・ 向井元仲『長崎書物改ノ旧記』に拠れば、この年『畸人十篇』『七克』『況義』を禁書とする。

1639（寛永16）

- ・ 古活字版『伊曾保物語』寛永一六年刊記第一種・第二種本刊行。

1645（正保2）

- ・ 『ひそめ草』刊行：仮名草子『伊曾保物語』中の1話を引用する。

1647（正保4）

- ・ 『悔草』：仮名草子『伊曾保物語』に基づいた2話を載せる。

1659（万治2）

- ・ 整版絵入『伊曾保物語』万治二年刊記本刊行。同版の無刊記本もある。

1660（万治3）

- ・ 大蔵虎明『わらんべ草』成立：仮名草子『伊曾保物語』中の7話を引用する。

1662（寛文2）

- ・ 曾我休自『為愚痴物語』刊行：仮名草子『伊曾保物語』に基づいた1話を載せる。

1667（寛文7）

- ・ 苗村丈伯『理屈物語』刊行：仮名草子『伊曾保物語』に基づいた1話を載せる。

1668

- ・ ラ・フォンテーヌ『寓話』刊行：イソップ寓話を含む寓話詩。石川大浪が所有していたか。「イソップ伝」の部分が堀三友・秋野繁吉によって『伊蘇普実伝』（1899）に翻訳される。

1677（延宝5）

- ・ 西園寺実輔、仮名草子『伊曾保物語』を筆写する。この卷子本一冊は現天理図書館

蔵。

1681 (延宝9・天和元)

- ・ この年か翌年に『うかればなし』刊行：仮名草子『伊曾保物語』に基づいた1話を載せる。

1692 (元禄5)

- ・ 『嘶かこのこ』刊行：仮名草子『伊曾保物語』に基づいた1話を載せる。

1771 (明和8)

- ・ 向井元仲『長崎書物改ノ旧記』に拠れば、この年『畸人十篇』『七克』『況義』を禁書とする。

1784 (天明4)

- ・ 三浦梅園が『五月雨抄』で、『畸人十篇』『七克』『況義』が禁書であることに言及する。

1791 (寛政3)

- ・ 加賀藩前田土佐守家の当主前田直方の命を受け、フォンデル (Vondel) の *Vorstelucke Warande der Dieren* 中の絵を矢田六兵衛 (四如軒) が、本文を山口為範が模写する。(5月25日)

1796 (寛政8)

- ・ 森島中良『鄙都言種』前編刊行：仮名草子『伊曾保物語』中の1話を引用する。

1799 (寛政11)

- ・ 立原翠軒、オランダ通事榎林重兵衛の聞書『榎林雑話』でイソップに言及する。

1802 (享和2)

- ・ 樗樸道人『鄙都言種』後篇刊行：仮名草子『伊曾保物語』中の1話を引用する。

1806 (文化3)

- ・ クルイロフ、『寓話』をこの年以降1834年まで断続的に執筆：イソップ寓話を含む。笛仙子による翻訳12話が『家庭雑誌』第17～19号(1893年11～12月)に載る。
- ・ 平田篤胤『本教外篇』成立：『畸人十篇』中のイソップ寓話を採り入れる。

1811 (文化8)

- ・ 司馬江漢『春波楼筆記』成立：仮名草子『伊曾保物語』中の3話の要約を載せる。
- ・ 司馬江漢『伊曾保物語図』この頃成立か：仮名草子『伊曾保物語』中の1話を引用し、その図を描く。

1814 (文化11)

- ・ 司馬江漢『無言道人筆記』：仮名草子『伊曾保物語』中の5話の要約を載せる。
- ・ 司馬江漢『訓蒙画解集』：仮名草子『伊曾保物語』中の4話の要約を載せる。

1833

- ・ R.Whately: *Easy Lessons on Money Matters* (ダブリン) 刊行：イソップ寓話を2話引用する。後に渡部温が『経済説略』と題して英語のまま翻刻する。

1837 (天保8)

- ・ 山崎美成、『海録』でイソップに言及する。

1840

- ・ ロバート・トーム（羅伯聃）『意拾喩言』（The Canton Press Office、広東）：L'Estrange の *Fables of Æsop and Other Eminent Mythologists* 中の 82 話の中国語訳。この改訂版『伊娑菩喩言』が日本に伝わる。
- 1842（天保13）
 - ・ 西園寺寛季、西園寺実輔筆写の仮名草子『伊曾保物語』卷子本一軸（現天理図書館蔵）を三浦茂樹に与える。
- 1844（天保15・弘化元）
 - ・ 為永春水『絵入教訓近道』刊行：仮名草子『伊曾保物語』に基づいた 16 話と挿絵を載せる。
- 1848
 - ・ Thomas James : *Æsop's Fables* (John Murray、ロンドン) 刊行：日本にもたらされた最初の英語版イソップ寓話集の初版。1863 年版が渡部温訳『通俗伊蘇普物語』の原書。
- 1853
 - ・ 香港で刊行された中国語月刊誌『遐邇貫珍』に、『伊娑菩喩言』中の 18 話が 1853 年 8 月から 1855 年 8 月にかけて連載される。日本にも伝わる。
 - ・ この頃「伊娑菩喩言」（上海施薬院、上海版）刊行：『意拾喩言』の改訂版で、日本に伝わる。ロシア人作家ゴンチャロフが上海でこれを購入し、1853 年長崎に滞在した折に日本人に示したと思われる。
- 1856（安政3）
 - ・ 穴戸璣が『伊娑菩喩言』を筆写する。
- 1857（安政4）
 - ・ 吉田松陰が穴戸璣の筆写した『伊娑菩喩言』を岡部富太郎に写させ、「跋伊娑菩喩言」（『丁巳幽室文稿』）を記す。
- 1863（文久3）
 - ・ Thomas James : *Æsop's Fables* の後版 (John Murray, ロンドン) 刊行：英国に留学した外山正一が 1868 年の帰国に際し携える。渡部温訳『通俗伊蘇普物語』の原書。
- 1865（元治2・慶応元）
 - ・ 中牟田倉之助、『伊娑菩喩言』を上海で購入する。
- 1867（慶応3）
 - ・ 「万国新聞紙」第 2 集（2 月中旬）に 2 話、第 3 集（3 月下旬）に 1 話、第 6 集（8 月下旬）に 1 話、第 9 集（12 月下旬）に 1 話のイソップ寓話が載る。
 - ・ George Fyler Townsend: *Three Hundred Æsop's Fables* (George Routledge、ロンドン) 刊行：明治期に最も多く訳された英語のイソップ寓話集。1867 年刊行の版と刊年不明だが 1867 年頃とされる版がある。英国に留学した福沢英之助が 1868 年の帰国に際し携えたのは前者、田中達三郎訳『寓意勸懲伊蘇普物語』（1888）の原本は後者と思われる。
- 1868（慶応4・明治元）
 - ・ 「中外新聞」第 20 号（閏 4 月）、「中外新聞外篇」卷之八（閏 4 月）、「中外新聞外篇」卷之十一（5 月）に、神田孝平による「唐通居士録『喩言一則』」と題されたイ

ソップ寓話の翻訳がそれぞれ 1 話ずつ載る。

- ・ 「遠近新聞」第 27 号（5 月 30 日）に弥堅外史（鈴木唯一）訳による 2 話のイソップ寓話が載る。
- ・ 外山正一が英国留学からの帰国に際し、Thomas James の *Æsop's Fables* 1863 年版を携える。
- ・ 福沢英之助が英国留学からの帰国に際し、George Fyler Townsend の *Three Hundred Æsop's Fables* 1867 版を携える。
- ・ 『伊娑菩諭言』香港英華書院版刊行。

1869（明治2）

- ・ 「万国新聞紙」第 15 集（2 月下旬）、第 16 集（3 月下旬）、第 17 集（4 月下旬）にそれぞれイソップ寓話が 1 話ずつ載る。第 15 集にはワグマンの絵も付される。
- ・ 官准「中外新聞」第 23 号（7 月）に、『エソポのハブラス』中の「おほかみとひとつじのたとへの事」が載る。
- ・ 渡部温『経済説略（The Compendium of Political Economy）』（渡部温）刊行：R.Whately の *Easy Lessons on Money Matters* を中心とした英文の翻刻。2 話のイソップ寓話が引用されている。

1870（明治3）

- ・ 小幡篤次郎『生産道案内』（尚古堂、5 月）刊行：『経済説略』の翻訳。2 話のイソップ寓話が引用されている。

1872（明治5）

- ・ 福沢諭吉『童蒙教草』（尚古堂、6 月）刊行：W.Chambers & R.Chambers の *The moral class-book* の翻訳。13 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 渡部温『英文伊蘇普物語』（渡部温）刊行：Thomas James の *Æsop's Fables* 1863 年版の英文のままの翻刻。

1873（明治6）

- ・ 上羽勝衛『童蒙読本』（猩々軒、3 月）刊行：5 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 田中義廉『小学読本（初版）』（文部省、3 月）刊行：2 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 渡部温『通俗伊蘇普物語』（山城屋、4 月）刊行：Thomas James の *Æsop's Fables* を中心としたイソップ寓話集の翻訳。全 237 話。ただし巻四～六は同年暮の刊行。日本におけるイソップ寓話の普及に大きな役割を果たす。
- ・ 沢井整平『修身小学』（育徳堂、5 月）刊行：5 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 山本義俊『修身学訓蒙』（弘成堂、5 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 福沢英之助『初学読本』（福沢英之助、5 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 是洞能凡類『童蒙修身心廻鏡』（一貫堂、8 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 省己遊人『西洋稚児話の友』（中外堂、8 月）刊行：11 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 今井史山『西洋童話』（清規堂、8 月）刊行：4 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 加地為也『西洋教の杖』（尚古堂、9 月）刊行：8 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 深間内基『幼童教の梯』（稲田政吉他、11 月）刊行：6 話のイソップ寓話に基づく

話を載せる。

- ・ 福沢英之助『訓蒙話草』（福沢英之助、12月）刊行：George Fyler Townsend の *Three Hundred Aesop's Fables* から 91 話を選んでの抄訳。Townsend 本の最初の翻訳。
- ・ 室賀正祥『造花誌』（一喜斎、12月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 渡部温『英文伊蘇普物語』（山城屋）刊行：1872年版の再版。
- ・ 河鍋暁斎「伊蘇普物語之内」刊行：イソップ寓話を題材とした版画シリーズ。

1874（明治7）

- ・ 秋津学人「世界人物品評」（「東京日々新聞」5月24日）：「皇国」の「曲亭馬琴」、「漢土」の「金聖嘆」に対比して「各国」の「伊蘇普」を挙げる。
- ・ 西村茂樹『経済要旨』（文部省、6月）刊行：『経済説略』の翻訳。2話のイソップ寓話が引用されている。
- ・ 田中義廉編『小学読本（大改正本）』（文部省師範学校、8月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 中川将行『泰西世説』（種玉堂、11月）刊行：8話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 河鍋暁斎「伊蘇普物語之内」刊行：前年に続き刊行された、イソップ寓話を題材とした版画シリーズ。
- ・ 河鍋暁斎「暁斎楽画」第6・8・11号刊行：イソップ寓話を題材とする版画。

1875（明治8）

- ・ 漢加斯底爾（ファン・カステール）『小学修身口授』（文部省、7月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 市岡正一『女学読本』（錦耕堂、11月）刊行：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 河鍋暁斎「伊蘇普物語之内」刊行：2年前から続く、イソップ寓話を題材とした版画シリーズ。

1876（明治9）

- ・ 阿部弘国『漢訳伊蘇普譚』（青山清吉、10月）刊行：英華書院版『伊娑菩喩言』に訓点、送り仮名を施す。
- ・ 加地為也『西洋童蒙訓』（珊瑚閣、12月）刊行：『西洋教の杖』（1873）の改題本。
- ・ 青木輔清著『小学教諭民家童蒙解』（内藤伝右衛門、12月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。

1877（明治10）

- ・ 田中義廉『小学読本（私版本）』（猫窠書屋など、3月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 小幡篤次郎『経済入門一名生産道案内』（丸屋善七、6月）刊行：『生産道案内』（1870）の改訂版。
- ・ 天野皎『小学修身談』（池上儀八、8月）刊行：1話のイソップ寓話に基づいた話を載せる。
- ・ 鳥山啓『初学入門』（和歌山県学務課、9月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 遠藤宗義他『小学口授要説（前編）』（内藤書屋、12月）刊行：33話のイソップ寓話を載せる。

1878 (明治11)

- ・ 福井孝治著『^{下等}小学修身談』(浅井吉兵衛、2月)刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 木戸麟編纂『修身説約』(金港堂、9月)刊行：11話のイソップ寓話を載せる。

1879 (明治12)

- ・ 中田敬義『北京官話伊蘇普喻言』(渡部温、4月)刊行：『通俗伊蘇普物語』の中国語訳。

1880 (明治13)

- ・ 久松義典『新撰小学読本』巻二・三(金港堂、2月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。

1881 (明治14)

- ・ 木戸麟『小学修身書』(金港堂、6月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 宮本茂任・福井掬『^{小学}必携修身読本』(三書房、6月)刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 吉見経綸『^{初等}小学修身訓』(石川書房、6月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 中島操・伊藤有隣『小学読本』(集英堂、12月)刊行：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ この頃 Henry Faulds (フォールズ) が凸字の「イソツプモノガタリ」を刊行：『通俗伊蘇普物語』に依拠した全15話。

1882 (明治15)

- ・ 山名留三郎他『錦絵修身談』(普及舎、3月)刊行：2話のイソップ寓話に基づく話を載せる。
- ・ 内田嘉一纂述『小学中等科読本』(金港堂、5月)刊行：7話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 宇田川準一『小学読本』(文学社、9月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 日柳政惣『修身画解』(浪華文会、10月)刊行：1話のイソップ寓話を載せる。

1883 (明治16)

- ・ 池田観編輯『新撰小学読本』(東崖堂、7月)刊行：11話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 原亮策纂述『小学読本初等科』(金港堂、9月)刊行：12話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 日柳政惣編述『修身訓画読本』(浪華文会、11月)刊行：1話のイソップ寓話を載せる。

1884 (明治17)

- ・ 青山正義『^{小学}修身食経俱瑳口授編』(大黒屋書舗、2月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 若林虎三郎『小学読本』(嶋崎磯之蒸、6月)刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 青山正義『修身口授編』(大黒屋書舗、8月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 阿部弘蔵『小学読本』(金港堂、11月)刊行：13話のイソップ寓話を載せる。

1885 (明治18)

- ・ 塚原靖編輯『^{小学}中等課児読本』(教育書房錦森閣、2月)刊行：1話のイソップ寓話を載せる。

載せる。

- ・ 吉田静撰『女児読本下等科』(吉田静他、2月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 普及舎著『読本』(普及舎、5月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 鈴木幹興・三田利徳編輯『啓蒙小学読本』(光風社、6月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 普及舎著『^{校訂}読本』(普及舎、6月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 『RÔMAJI ZASSHI』第1～7号(羅馬字会、6～12月)刊行：10話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 『絵入朝野新聞』9月1日～30日に「旧訳伊曾保物語」連載：日下部鳴鶴所蔵の卷子本『伊曾保物語』(現天理図書館蔵)から42話を載せる。
- ・ 塚原靖撰『女子読本』(金港堂、9月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 井上蘇吉編『小学読本』(六卷本)(井上蘇吉、9月)刊行：8話のイソップ寓話を載せる。

1886(明治19)

- ・ 『RÔMAJI ZASSHI』第8・10・12～16・19号(羅馬字会、1～12月)刊行：14話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 大久保夢遊『伊曾保物語』(春陽堂、2月)刊行：1885年『絵入朝野新聞』連載の単行本。
- ・ 新保磐次著『日本読本』(金港堂、2月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 三尾重定編『^{新編}小学読本』(教育書院、3月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 大久保夢遊『伊曾保物語』(尚書堂、4月)刊行：春陽堂版の銅版模刻本。
- ・ 佐沢太郎編輯『^{普通}_{小学}修身口授書』(集英堂、4月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 井田秀生著『国民読本』(長島為一郎他、4月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 池田亀蔵『修身勸』初篇～三篇(小川畜善館、5月～1888年6月)刊行：56話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 塚原苔園撰『^{新体}読方書』(石川教育書房・前川書房、6月)刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 丹所啓行・前川一郎同輯『^{普通}_{小学}修身談』(集英堂、7月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 工藤精一編『新読本』(大倉保五郎、9月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 吉田賢輔編述『初学読本』(汎愛堂、10月)刊行：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 佐沢太郎編纂『尋常小学第四読本』(文栄堂、11月)刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 内田嘉一纂述『^{増訂}小学読本』(金港堂、11月)刊行：9話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 高橋熊太郎『普通読本』(集英堂、11月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ Jenny H. Stickney : *A Child's Version of Aesop's Fables* (Ginn & Company)刊行：Charles

Stickney *Aesop's Fables* の底本と思われる。

1887 (明治20)

- ・ 『RŌMAJI ZASSHI』第21・22・25号 (羅馬字会、2～6月) 刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 阿部弘蔵『修身説話』 (金港堂、3月) 刊行：53話のイソップ寓話に基づく話を載せる。
- ・ 内田嘉一編輯『実用読本尋常科』 (長島為一郎他、3月) 刊行：5話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 文部省編輯局編纂『尋常小学読本』 (文部省編輯局、4月) 刊行：5話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 青木富士『通俗絵入学芸独案内』『日本西洋昔噺』 (嵩山堂、5月) 刊行：20話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 高橋熊太郎編『^{高等}_{科用}普通読本』 (集英堂、5月) 刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 西邨貞著『幼学読本』 (金港堂、5月) 刊行：5話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 佐沢太郎編纂『高等小学第二読本』 (文栄堂、5月) 刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 中原貞七編纂『新定読本』 (文学社、6月) 刊行：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 中原貞七編纂『高等読本』 (文学社、6月) 刊行：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 吉田利行編輯『小学修身鑑補』 (魁玉堂、6月) 刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 中川重麗編纂『^{尋常}_{小学}明治読本』 (二西堂・積小館、7月) 刊行：5話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 川田孝吉『小学生徒教育昔噺』第一卷～第七卷 (開文堂、7月～1888年10月) 刊行：32話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 下田歌子著『^国_文小学読本』 (十一堂、8月) 刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 生田万三『和漢西洋聖賢事跡修身稚話』 (宝文館、9月) 刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 大久保夢遊『伊曾保物語』 (春陽堂、9月) 刊行：1886年春陽堂版の改版。
- ・ 『教育小供のはな誌』第3～6号 (幼談社、9月) 刊行：5話のイソップ寓話の改作を載せる。
- ・ 中根淑・内田嘉一同著『^簡_易小学読本』 (金港堂、9月) 刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 綾部乙松『小学生徒修身教育昔話』 (瀬山左吉、10月) 刊行：4話のイソップ寓話の改作を載せる。
- ・ 岸毅彥編輯『^小学修身用書』 (成美堂、10月) 刊行：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 岡村増太郎編述『小学高等読本』 (阪上半七、10月) 刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 石井音五郎他『尋常小学修身口授教案』卷一～四 (文華堂、10月～1888年7月) 刊行：46話のイソップ寓話を載せる。

- ・ 植村善作著『^{尋常}小学温習読本』(普及舎、11 月)刊行：2 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 中根淑・内田嘉一同著『^{小学}簡易科読本』(金港堂、12 月)刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 小松忠之輔『尋常読本』(内藤恒右衛門、12 月)刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ Charles Stickney : *Aesop's Fables* (吉岡商店、12 月)刊行：旧制中学校で英語教科書として広く使用されたイソップ寓話集。これ以降大正期までいくつかの出版社から刊行される。

1888 (明治 21)

- ・ 島崎友輔編輯『初学第七 (八) 読本』(興文社・前川善兵衛、1 月)刊行：2 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 木沢成肅・丹所啓行編輯『簡易小学読本』(阪上半七・石塚徳次郎、2 月)刊行：2 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 田中達三郎『寓意勸懲伊蘇普物語』(木村多喜、3 月)刊行：George Fyler Townsend の *Three Hundred Aesop's Fables* の最初の全訳。後に有斐閣からも刊行される。
- ・ 東京府庁編『小学読本』巻三・四 (文海堂他、4 月)刊行：3 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 大館利一『修身之教』(安井兵助、5 月)刊行：23 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 東州散史「エソップ物語抄訳」(『DOSHISHA 文学会雑誌』第 13 号、5 月)：2 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 三宅米吉・新保磐次同著『高等日本読本』(金港堂、5 月)刊行：6 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 横井命順・秋原捨五郎『^{小学}修身教授案』(横井命順・秋原捨五郎、6 月)刊行：14 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 日置岩吉『小学生徒修身教育漸』第一編～第五編 (赤志忠雅堂、6～11 月)刊行：32 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 井上蘇吉編纂『小学読本』(八卷本) (敬業社、6 月)刊行：15 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 新保磐次・林吾一同著『^{温習}日本読本』(金港堂、8 月)刊行：5 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 大館利一『西洋日本昔噺』(文欽堂、9 月)刊行：34 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 「子供と物語本」(「以良都女」第 15 号、9 月)：グリムなどと共にイソップに言及する。
- ・ 「小供談 心悪しければ身を損す」(『女学雑誌』第 136 号、11 月)：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 渡部温『改正増補通俗伊蘇普物語』(渡部温、12 月)刊行：『通俗伊蘇普物語』の改訂・増補版。
- ・ 竹村友治郎『伊曾保物語』(改進堂、12 月)刊行：大久保夢遊『伊曾保物語』の改版本。

- ・ 渡部温『改正増補通俗伊蘇普物語原書』（渡部温）刊行：『改正増補通俗伊蘇普物語』の英語（James 本、Townsend 本）原文の翻刻。
- ・ Ernest Mason Satow *The Jesuit Mission Press in Japan* 刊行：『エソポのハブラス』を学術的に紹介する。

1889（明治22）

- ・ 「小供談 金の卵を産む鷺鳥」（『女学雑誌』第 144 号、1 月）：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 川田孝吉『いろは短歌教育噺』（いろは書房、4 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 宮規子訳「小供談 不親切なる馬の話」（『女学雑誌』第 159 号、4 月）：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 沢辺慶作編輯『学校用修身書』卷之一～三（成美堂、5 月～1891 年 3 月）刊行：7 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 「鼠の国会」（『小国民』第 1 号、7 月）：1 話のイソップ寓話の改作を載せる。
- ・ 杉山文悟『幼年宝玉』（普及舎、9 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 江東散史（吉沢富太郎）『小学生徒教育修身の話』（開文堂、9 月）刊行：5 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 金港堂編輯所編輯『^{簡易}_{補修}日本読本』（11 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 斯波計二『修身教育子供演説』（学友館、12 月）刊行：2 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 吉沢富太郎『幼稚修身のをしへ』（開文堂、12 月）刊行：4 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 西森武城『通俗教育演説』（幹盛堂、12 月）刊行：2 話のイソップ寓話を載せる。

1890（明治23）

- ・ 吉沢富太郎『家庭教育修身をしへ草』（開文堂、1 月）刊行：5 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 『小学生徒之友』第 9・17・24 号（2～9 月）：4 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 『こども』第 1・2・4・8～10 号（2～12 月）：7 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 斯波計二『智恵之競争子供演説』（学友館、3 月）刊行：3 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 和田万吉『家庭教育修身はなし』（双々館、7 月）刊行：7 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 関場不二彦「イソップの事を記す」（『少年園』第 46 号、9 月）：イソップ伝。
- ・ 沢久次郎『修身教育宝之友』（沢久次郎、10 月）刊行：4 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ ふみ子「児籃 羊と羊飼のはなし」（『女学雑誌』第 243 号、12 月）：1 話のイソップ寓話を載せる。

1891（明治24）

- ・ ふみ子「児籃 熊の入婚のはなし」（『女学雑誌』第 247 号、1 月）：1 話のイソッ

ブ寓話を載せる。

- ・ 『こども』第11～13号（1月～3月）：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 文廼家主人訳「鶴の復讐」（『幼年雑誌』第1巻第3号、2月）：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 金港堂編輯所編輯『^{新撰}補修日本読本』（金港堂、2月）刊行：『^{簡易}補修日本読本』（1889）の改題本。
- ・ ふみ子「児籃 草と鹿の話し」（『女学雑誌』第255号、3月）：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 蜃気楼主人「太良兵衛」（『幼年雑誌』第1巻第6号、3月）：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 黙言道士『修身教育為めになる話』（学友館、4月）刊行：7話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 篠田正作『少年教育子供演説』（鐘美堂、5月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 『小学生徒之友』第40・45～47号（5～9月）：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 西野正勝『尋常小学生徒教育』（浜本明昇堂、7月）刊行：25話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 大館利一『児童教育知恵宝』（刀根松之助、7月）刊行：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 愛柳子「狼と羊」（『幼年雑誌』第1巻第14号、7月）：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 岸上操「古訳伊曾保物語一節」（江戸会編『江戸旧事考』第3巻（江戸会事務所、7月））：整板絵入『伊曾保物語』万治二年刊記本を紹介する。
- ・ 木原季四郎『子供のをしえ』（やまと新聞社、8月）刊行：3話のイソップ寓話の改作を載せる。
- ・ 金港堂編輯所編輯『^{新撰}補修高等日本読本』（金港堂、9月）刊行：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 三浦源助『小学修身全書』上・下巻（成美堂、9・11月）刊行：31話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 小池清『通俗修身談』（共同出版社、10月）刊行：17話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 森本園二『新編小学修身事实全書』（盛文館、10月）刊行：9話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 瘦々亭骨皮道人（西森武城）『面白叢談』（共隆舎、11月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 渡辺松茂『家庭教育小学修身はなし』（積善館、12月）刊行：イソップの名はないが、事実上翻訳イソップ寓話集。
- ・ 渡辺松茂『家庭教育幼年修身はなし』（積善館、12月）刊行：イソップの名はないが、事実上翻訳イソップ寓話集。『家庭教育小学修身はなし』の続篇。

1892（明治25）

- ・ 西村寅二郎『教育修身談』（東雲堂、1月）刊行：小池清『通俗修身談』（1891）に同じ。
- ・ 西野正勝『尋常小学生徒修身話』（浜本明昇堂、1月）刊行：『尋常小学生徒教育』（1891）に同じ。
- ・ 篠田正作『少年教育修身実話』（鐘美堂、1月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 篠田正作『少年教育子供演説指南』（鐘美堂、1月）刊行：『少年教育子供演説』（1891）に同じ。
- ・ 岡本可亨『知識の文庫』（吉岡宝文軒、1月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 能勢栄撰『尋常小学修身書生徒用』（金港堂書籍、2月）刊行：11話のイソップ話を載せる。
- ・ 荻原朝之介著『帝国修身軌範教師用』（博文館、3月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 能勢栄著『尋常小学修身書初歩生徒用』（金港堂書籍、3月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 育英舎編述『新撰小学読本』（阪上半七、3月）刊行：9話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 育英舎編述『小学修身亀鑑』（阪上半七、3月）刊行：11話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 岡村増太郎著『^{尋常}_{小学}修身教科書』（博文館、3月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 森慎一郎編輯『尋常小学修身書』（阪上半七、3月）刊行：5話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 教育散史（堀中徹蔵）『修身教育をしゑ草』（榊原友吉、3月）刊行：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 佐藤次郎吉『少年書類新伊蘇普物語』（博文館、3月）刊行：創作動物寓話集だが、1話イソップ寓話を載せる。動物寓話に「伊蘇普（イソップ）」の名を冠していることが注目される。
- ・ 鎌田淵海『少年仏教修身はなし』（頤道書院、3月）刊行：21話のイソップ寓話の改作を載せる。
- ・ 森下亀太郎『家庭教育日本修身談』（積善館、4月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 金港堂書籍編輯所編輯『^{新撰}尋常日本読本』（金港堂書籍、4月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 末松謙澄著『小学修身訓生徒用』（精華舎、4月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 秋元政「^{少年}_{必携}子供伊蘇普」自序（4月）（秋元政『教育幼稚の宝』（金桜堂、5月）所収）：創作寓話集だが、「伊蘇普（イソップ）」の名を冠していることが注目される。
- ・ 鈴木青溪『新訳伊蘇普物語』（積善館、5月）刊行：著者名は異なるが渡辺松茂の

『家庭教育小学修身はなし』（1891）・『家庭教育幼年修身はなし』（1891）を合冊にした改題本。

- ・ 秋元政『教育幼稚の宝』（金桜堂、5月）刊行：30話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 西村寅二郎『修身立志談』（東雲堂、5月）刊行：111話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 田中鎌太郎『家庭修身教育話』（松本正次郎他、5月）刊行：12話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 山県悌三郎著『小学国文読本 尋常小学校用』（文学社、6月）刊行：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 重野安繹編輯『尋常小学修身』（八尾書店、7月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 山県悌三郎著『小学国文読本 尋常小学校用 片仮名交』（文学社、9月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 京都府教育会編纂『^{尋常}小学修身書』（福井源治郎、9月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 学海指針社編輯『帝国読本』（集英堂、9月）刊行：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 大和田建樹著『^{尋常}小学修身訓生徒用』（大和田建樹、9月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 江東散史（吉沢富太郎）『教育修身の鑑』（鈴木万次郎、12月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 獅虫寛慈『知育德育修身雑話』（圭文堂、12月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 渡辺政吉著『^{単級}小学尋常日本読本』（金港堂書籍、12月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ Charles Stickney : *Aesop's Fables*（富山房）刊行。

1893（明治26）

- ・ 平井美津『修身譚』（一二三館、2月）刊行：7話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 森本江南『少年文学動物園』（吉岡平助、6月）刊行：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 小池民次著『^{尋常科}生徒用初学修身書』（至誠館、8月）刊行：9話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 教育学館編輯『^{聖旨}尋常小学修身書児童用』（大日本図書、9月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 梶山弛一編『^{尋常}小学修身要訓生徒用』（温故書院、10月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 「偶話」（『家庭雑誌』第16号、10月）：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 日下部三之介編『新撰小学読本』（田沼書店、11月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 笛仙子訳「クルイロウフの寓意詩」（『家庭雑誌』第17号、11月）：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ クロイロウフ氏作、笛仙子訳「寓意詩」（『家庭雑誌』第18号、11月）：1話のイソ

ップ寓話を載せる。

- ・ 桜外生（晩翠禅史）訳「伊蘇普物語」（『花の園生』第 34・35 号、11・12 月）：4 話のイソップ寓話を収める。
- ・ クルイロウフ氏作、笛仙子訳「寓意詩」（『家庭雑誌』第 19 号、12 月）：2 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 「寓言」（『家庭雑誌』第 19 号、12 月）：7 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ ゴミーツリエフ氏作、嵯峨の家主人訳「寓意詩」（『家庭雑誌』第 20 号、12 月）：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 教育学館編輯『^{聖旨}_{道徳}尋常小学修身用画集』（大日本図書、12 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ この頃坪内雄蔵（逍遙）『英文評釈』（東京専門学校出版部）刊行か：『文学叢書英詩文評釈』（1902）に同じ。

1894（明治 27）

- ・ 学習院編纂『^{学習}_院初学教本』（学習院、2 月）刊行：2 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 辻本三省『家庭教育修身少年美談』（積善館、3 月）刊行：3 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 久津見蕨村「蛙の演説」（『少文林』第 2 巻第 5 号、3 月）：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 末松謙澄著『^{新定}小学修身訓生徒用』（精華舎、6 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 興風学館編『^{尋常小}_{学科用}皇民読本』（神戸直吉、7 月）刊行：7 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 金港堂書籍編輯所編輯『^{尋常}_{小学}新体読本』『^{訂正}新体読本 尋常小学校用』（金港堂書籍、8 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 金港堂書籍編輯所編輯『^{高等}_{小学}新体読本』（金港堂書籍、9 月）刊行：2 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 金港堂書籍編輯『^{訂正}新体読本 高等小学用』（金港堂書籍、11 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 浅尾重敏編『^小_学尋常読本』（中田清兵衛他、12 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 山本誉治『家庭教育修身書』（済美館、12 月）刊行：6 話のイソップ寓話を載せる。

1895（明治 28）

- ・ 小島安太郎『修身のすゝめ』（錦江堂、2 月）刊行：7 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 西沢之助編『尋常小学読本』（国光社、2 月）刊行：1 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 教育学館編輯『^{聖旨}_{道徳}尋常小学修身書^{長野県}_{生徒用}』（大日本図書、3 月）刊行：2 話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 育英舎編纂『^{尋常}_{小学}明治読本』（阪上半七、9 月）刊行：3 話のイソップ寓話を載せる。

1896（明治 29）

- ・ 西村寅二郎『教育修身美談』（大日本図書出版社、3 月）刊行：小池清『通俗修身談』（1891）に同じ。

- ・ 黙言道士『少年教育はなし』（大日本図書出版社、3月）刊行：『修身教育為めになる話』（1891）に同じ。
- ・ 水谷不倒「文学史上の寛文 附りイソップの翻訳」（第1次第2期『早稲田文学』第14号、7月）：仮名草子『伊曾保物語』万治二年刊整版本を紹介する。
- ・ 大矢透『大日本読本尋常小学科』（大日本図書、12月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 金港堂書籍編輯所編輯『小学読本高等科用』（金港堂書籍、12月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。

1897（明治30）

- ・ 文部省『<sup>北海
道用</sup>尋常小学読本』（文部省、3月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 栗野忠雄『伊蘇普物語直訳講義』（青野天章閣、4月）刊行：Charles Stickney の *Aesop's Fables* の学習書。
- ・ 水谷不倒『列伝体小説史』（春陽堂、5月）刊行：『早稲田文学』第14号（1896）に載せた論文に基づき仮名草子『伊曾保物語』万治二年刊整版本を紹介する。
- ・ 「伊蘇普物語（イソップ物語）」等（『少年新誌』第2～4号、7～11月）：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 学海指針社編『新編帝国読本（尋常科用）』（集英堂、10月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 文学社編輯所編纂『国民新読本尋常小学校用』（文学社、11月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 神戸直吉著『<sup>尋常
小学</sup>新撰読本』（神戸書店、12月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 学海指針社『新編帝国読本 高等科』（集英堂、12月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ Charles Stickney : *Aesop's Fables*（小川尚栄堂）刊行。
- ・ この頃までに栗本鋤雲、『伊娑菩喩言』の訓読を行う。

1898（明治31）

- ・ 文部省『<sup>沖縄
県用</sup>尋常小学読本』（文部省、3月～1899年2月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 前田儀作編『漢訳批評伊蘇普物語』（湊屋、7月）刊行：『伊娑菩喩言』に、小野辰三郎による訓点と註を加える。
- ・ 普及舎編輯所訂正『訂正<sup>尋常
小学</sup>修身教典生徒用』（普及舎、12月）刊行：7話のイソップ寓話を載せる。

1899（明治32）

- ・ 堀三友・秋野繁吉『伊蘇普実伝』（救済新報社、2月）刊行：ラ・フォンテーヌの『寓話』中の「イソップ伝」の翻訳。2話のイソップ寓話を含む。
- ・ 大町芳衛・上田敏合編『新体中学国文教程』（大日本図書、4月）刊行：仮名草子『伊曾保物語』に基づいた2話を載せる。
- ・ 元木貞雄『伊蘇普物語直訳講義』（小川尚栄堂、8月）刊行：Charles Stickney の *Aesop's Fables* の学習書。

- ・ 積善館：Æsop's Fables（積善館、9月）刊行：George Fyler Townsend の *Three Hundred Æsop's Fables* 全話の英文のままの翻刻。
- ・ 学海指針社編『帝国修身訓』（集英堂、10月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 育英舎編纂『^{新撰}尋常小学読本』（育英舎、10月）刊行：7話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 坪内雄蔵（逍遙）著『読本<sup>尋常小学
生徒用書</sup>』（富山房、12月）刊行：7話のイソップ寓話を載せる。

1900（明治33）

- ・ 桑原隲蔵「明清時代に於ける志那滞在の耶蘇教士」（『地理と歴史』第1巻第6・8号、8・10月）：ニコラス・トリゴー（金尼閣）の『況義』に言及する。
- ・ 伴成高『子供演説』（鐘美堂、9月）刊行：篠田正作『少年教育子供演説』（1891）に同じ。
- ・ 普及舎編『国語読本<sup>尋常小
学校用</sup>』巻二・三（普及舎、9月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 坪内雄蔵（逍遙）『国語読本<sup>尋常小
学校用</sup>』訂正再版（富山房、9月）刊行：5話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 普及舎編輯所編『^{新編}修身教典<sup>尋常小
学校用</sup>』（普及舎、9月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 学海指針社編『小学国語読本』（集英堂、9月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 学海指針社編『小学修身訓』（集英堂、9月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 金港堂書籍『^{尋常}国語読本』（金港堂書籍、9月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 学海指針社編『小学国語読本 高等科』（集英堂、10月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 坪内雄蔵（逍遙）著『国語読本<sup>高等小
学校用</sup>』（富山房、10月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 文学社編輯所編纂『小学国語新読本尋常科用』（文学社、10月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 学海指針社編『^小女子国語読本 高等科』（集英堂、10月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 右文館編輯所編『<sup>尋常
小学</sup>国語読本』（右文館、10月）刊行：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 金港堂書籍編輯『<sup>尋常
小学</sup>単級修身訓』（金港堂書籍、10月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 金港堂書籍編輯『^{修訂}小学読本高等科』（金港堂書籍、11月）：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 右文館編輯所著『<sup>尋常
小学</sup>実践修身訓 児童用』（右文館、12月）刊行：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 育英舎『<sup>尋常
小学</sup>国語教本』（育英舎、12月）刊行：5話のイソップ寓話を載せる。

1901（明治34）

- ・ 文学社編輯所編纂『小学新修身尋常科教師用』（文学社、1月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 学海指針社編『修正新編帝国読本高等科』（集英堂、3月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 樋口勘次郎・野田滝三郎『尋常修身教科書入門』（金港堂書籍、5月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 学海指針社『修正新編帝国読本（尋常科用）』（集英堂、5月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 育英舎編輯所編纂『（訂正）尋常小学国語教本』（育英舎、6月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 樋口勘次郎・野田滝三郎合著『尋常国語教科書』（金港堂書籍、6月）刊行：5話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 樋口勘次郎・野田滝三郎著『高等国語教科書』（金港堂書籍、6月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 育英舎編輯所編纂『尋常小学修身教本』（育英舎、6月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 育英舎編輯所編纂『高等小学国語教本 女子用』（育英舎、6月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 小山左文二・武島又次郎合著『新編国語読本尋常小学校児童用』（普及舎、6月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 文学社編輯所編纂『高等日本国語読本』（文学社、7月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 文学社編輯所編纂『尋常日本修身書』（文学社、7月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 文学社編輯所編纂『尋常日本国語読本』（文学社、7月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 坪内雄蔵（逍遙）著『国語読本尋常小学校用（訂正三版）』（富山房、7月）刊行：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 坪内雄蔵（逍遙）著『国語読本高等科女子用』（富山房、7月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ Chauncey M. Cady: *The Series-Form of Æsop's Fables Part I, II* (The Orphan Industrial Press、7月) 刊行：イソップ寓話全55話から成る平易な英語教科書。
- ・ 「かめとうさぎのかげっこ」（『婦人と子ども』第1巻第7号、7月）：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 下田歌子『少女文庫第壱編お伽噺教草』（博文館、8月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 右文館編輯所編『実驗国語読本尋常小学校用』（右文館、8月）刊行：6話のイソップ

ブ寓話を載せる。

- ・ 西沢之助編『^{尋常}小学国語読本』(国光社、8月)刊行：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 小山左文二・加納友市合著『^{高等}^{単級}国語読本 児童用』(集英堂、9月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 大日本図書編輯『日本国語読本尋常科』(大日本図書、9月)刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 小山左文二・加納友市合著『^{尋常}^{単級}国語読本 児童用』(集英堂、9月)刊行：4話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 関貢米：*Stickney's Aesop's Fables* (小川尚栄堂、10月)刊行：Charles Stickney の *Aesop's Fables* から 94 話を選び載せた英語教科書。
- ・ 高知県教育会編纂『国語読本^{尋常小}学校用』訂正再版 (11 月) 刊行：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 渡辺政吉『^{単級}小学修正尋常日本読本』(金港堂書籍、11 月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ George Fyler Townsend: *Three Hundred Aesop's Fables* (George Routledge, London) 刊行：河島敬蔵『英文伊蘇普物語註釈』(1903)の依拠した版。
- ・ Charles Stickney: *Aesop's Fables* (金刺書店) 刊行。
- ・ 石原和三郎作詞、納所弁治郎作曲「うさぎとかめ」が発表される。

1902 (明治35)

- ・ 小山左文二・武島又次郎合著『新編国語読本^{高等小学}^{女児用}』(普及舎、2月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 坪内雄蔵(逍遙)『文学叢書 英詩文評釈』(早稲田大学出版部、6月)刊行：「訓法手引」の例として、イソップ寓話 *Bundle of Sticks* が挙げられる。これより8、9年前に同内容の『英文評釈』が講義録として出版される。
- ・ 普及舎編輯所編『^新修身教典^{尋常小学校}^{児童用}』(普及舎、8月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 国光社編輯所著『国民修身書^{尋常小}学校用』(国光社、8月)刊行：7話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 国光社編輯所編纂『国民読本^{尋常小}学校用』『小学読本^{尋常小}学校用』(国光社、8月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 文学社編輯所編纂『^{尋常}国語教科書』(文学社、11月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 西村酔夢『少年世界文学第五篇イソップのはなし』(富山房、12月)刊行：全24話のイソップ寓話集。
- ・ 霞山子「かうもりの二心」(『羽陽之少年』第6号、12月)：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 武島又次郎編『中学帝国読本』(金港堂書籍、12月)刊行：仮名草子『伊曾保物語』の1話を載せる。

- ・ Charles Stickney : *Aesop's Fables* (岡崎屋書店) 刊行 : 広告に『再版伊蘇普物語原書』「井上歌郎先生英文註釈附」とあるが、同書は確認できない。
- ・ Charles Stickney : *Aesop's Fables* (興文社) 刊行。

1903 (明治36)

- ・ 河島敬藏『英文伊蘇普物語註釈』(浜本明昇堂、1月) 刊行 : George Fyler Townsend の *Three Hundred Aesop's Fables* の英文本文付き註釈書。
- ・ 鐘美堂編輯所 : *Aesop's Fables with Illustrations* (鐘美堂、1月) 刊行 : Charles Stickney の *Aesop's Fables* から 73 話を選んだ英語イソップ寓話集。
- ・ 荒木江村「寓意譚」(『万年艸』第4・5巻(2・4月) : 4話のイソップ寓話とイソップ伝を載せる。
- ・ 「伊蘇普物語」「いそつぷ物語」(『婦人と子ども』第3巻第2～12号、2～12月) : 45話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 冷泉(百島操)「群鳩」(『福音新報』第405号、4月2日) : 3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 「イソプ教訓談」(『家庭雑誌』(堺利彦編輯)第1・2号(4・5月) : 各号2話ずつイソップ寓話を載せる。
- ・ 文部省著作『尋常小学読本』(第一期国定)(文部省、9月) 刊行 : 7話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 上田敏「外国文学の研究」と題する樗牛会における講演(10月) : 『エソポのハブラス』を紹介する。
- ・ 巖谷小波『新伊蘇普物語』(博文館、10月) 刊行 : 創作動物寓話集で、イソップ寓話を含まないが、動物寓話に「伊蘇普(イソップ)」の名を冠していることが注目される。

1904 (明治37)

- ・ 上田万年「御伽噺三則その三 人の口」(『帝国文学』10号、1月) : 1話のイソップ寓話改作を載せる。
- ・ 「いそつぷ物語」「いそつぷ(の)話」(『婦人と子ども』第4巻第1・2・4～8・10・11、1～11月) : 37話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 文部省著作『高等小学読本』(文部省、第一期国定)(2月) 刊行 : 3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 教育資料研究会『教授材料話の泉』(学海指針社、3月) 刊行 : 1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 横山達三『日本近世教育史』(同文館、5月) 刊行 : 仮名草子『伊曾保物語』に言及する。
- ・ Charles A. Parry : *Fables from Aesop in Short Sentences* (興文社、7月) 刊行 : イソップ寓話71話から成る平易な英語教科書。
- ・ 上田敏「外国文学の研究」(『時代思潮』第9・10号、10・11月) : 1903年の講演の記録。
- ・ 巖谷小波・高階柳陰訳「家鶏」(『をんな』第4巻第11号、11月) : 1話のイソップ

プ寓話を載せる。

1905 (明治38)

- ・ 大槻如電、仮名草子『伊曾保物語』の無刊記第二種本上巻見返しに、『伊曾保物語』の翻訳者をハビアン（不干ハビアン）と記す（4月）。
- ・ とろや山人「伊曾保物語」（『新古文林』第1・3・5号、5～8月）：計28話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 「いそっぷの話」等（『婦人と子ども』第5巻第5・6・11号、5～11月）：7話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 巖谷小波関・高階柳陰訳「葡萄畑」（『をんな』第5巻第8号、8月）：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 『少女智識画報』第1～3号（9～11月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 東基吉『家庭童話母のみやげ』（10月）刊行：10話のイソップ寓話を載せる。またイソップ寓話に基づく、東作詞、鈴木毅一作曲の唱歌「兎と亀」を載せる。
- ・ 『少年智識画報』第3・4・6号（11～12月）刊行：4話のイソップ寓話を載せる。

1906 (明治39)

- ・ 「金の斧」「欲ばつた罰」（『婦人と子ども』第6巻第2・9号、2・9月）：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 『少年智識画報』第8号（4月）刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 朝倉夢声『日本小説年表』（金尾文淵堂、11月）刊行：仮名草子『伊曾保物語』について学術的に言及する。

1907 (明治40)

- ・ 東基吉『教育童話子供の楽園』（同文館、4月）刊行：10話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 中尾傘瀬「イソップ物語と毛利元就遺訓」（『早稲田文学』四月号）（4月）：「三本の矢」遺訓をイソップ由来とする。
- ・ 佚名氏「イソップと元就遺訓の別考」（『早稲田文学』六月号、6月）：前項の中尾の論に疑問を呈する。
- ・ 上田万年『新訳伊蘇普物語』（鐘美堂、11月）刊行：全160話を収めるイソップ寓話集。
- ・ 佐藤潔『正訳伊蘇普物語』（小川尚栄堂、12月）刊行：Charles Stickneyの*Æsop's Fables* 全話の翻訳。
- ・ 雨谷一菜庵『イソップ物語』（吉川弘文館、12月）刊行：George Fyler Townsendの*Three Hundred Æsop's Fables* 全話の翻訳。
- ・ この頃から「少年お伽噺」シリーズ始まるか：このシリーズ本に16話のイソップ寓話を確認できる。

1908 (明治41)

- ・ 台湾総督府著作『^{台湾教}科用書国民読本』巻五・六・七（台湾総督府、2～7月）刊行：3話のイソップ寓話を載せる。

- ・ 「猪と狐」(『婦人と子ども』第8巻第6号、6月)：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 新村出、ロンドンの大英博物館図書室(大英図書館)で『エソポのハブラス』を謄写する(9月3日?、12月12日～1909年1月6日)。
- ・ 『日本百科大辞典』(三省堂、11月)刊行：「イソップものがたり」「イソホものがたり」が立項される。執筆者は巖谷小波か。
- ・ 百島操『イソップ物語』(内外出版協会、12月)刊行：George Fyler Townsend の *Three Hundred Aesop's Fables* 中の70話の翻訳。

1909 (明治42)

- ・ 長谷川元吉「イソップ物語詳解」(『英語之日本』第2巻第1～11・13号(1～12月)：英文の15話のイソップ寓話に「和訳」「註釈」を加える。
- ・ 中村徳助『新訳解説伊蘇普物語』(精華堂書店、2月)刊行：ほぼイソップ寓話集ではあるが、全124話中28話はイソップ寓話ではない。
- ・ 夏目漱石「それから」連載(『朝日新聞』6月27日～10月14日)：7月29日掲載分でイソップ寓話「牛と競争をする蛙」を引用する。
- ・ 文部省著作『尋常小学読本』(第二期国定)(日本書籍等、9月)刊行：6話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 文部省著作『^{秋季始業}尋常小学読本』(第二期国定)(日本書籍等、9月)刊行：3話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 大槻文彦「青木昆陽先生に就て」(帝国教育会『六代先哲』(弘道館、9月)所収)：仮名草子『伊曾保物語』の諸版に言及する。
- ・ この頃から「明治少年お伽噺」シリーズ(島鮮堂)始まるか：このシリーズ本に4話のイソップ寓話を確認できる。
- ・ この頃から「絵入日本お伽噺」シリーズ(島鮮堂)始まるか：このシリーズ本に18話のイソップ寓話を確認できる。
- ・ この頃までに水谷不倒、仮名草子『伊曾保物語』の校訂本の刊行を試みるが果たさずに終わる。

1910 (明治43)

- ・ 吉田潔『独学自修イソップ物語』(金刺芳流堂、3月)刊行：Charles Stickney の *Aesop's Fables* の学習参考書。
- ・ 文部省著作『尋常小学修身書』(第二期国定)(日本書籍等、3月)刊行：2話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 西片寒川『教訓叢話イソップ物語』(井上一書堂、4月)刊行：Charles Stickney の *Aesop's Fables* などから170話を選んで翻訳したイソップ寓話集。ただし4話はイソップ寓話でない。
- ・ 大槻如電「伊曾保物語のものがたり」(『此花』第四枝、4月)：卷子本の絵入り「伊曾保物語」を目睹したことを記す。
- ・ 新村出「西洋文学翻訳の嚆矢」(『太陽』、4月号)：『エソポのハブラス』を紹介する。
- ・ 新村出「文禄旧訳伊曾保物語」を連載する(『芸文』創刊号～9号、4月～12月)。

- ・ 小蝶山人『少年お伽演説』（岡村書店、6月）刊行：7話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 長谷川元吉「イーソップ物語詳解」（『英語之日本』第3巻第7号、6月）：英文の3話のイソップ寓話に「和訳」「註釈」を加える。
- ・ 『イーソップの話（第一）』（英語研究社、6月）刊行：イソップ寓話全20話を載せる、旧制中学生向けの英語学習書。
- ・ 『日本教育文庫 訓戒篇下』刊行（同文館、8月）：「付録」に仮名草子『伊曾保物語』万治二年刊整版本の翻刻を載せる。
- ・ 中川柳涯『ポケット伊蘇普物語』（日吉堂、10月）刊行：全150話のイソップ寓話集。
- ・ 馬場直美『お伽百題』（岡村書店、10月）刊行：47話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 馬場直美『ポケット新訳イソップ物語』（岡村盛花堂、11月）刊行：全257話の翻訳イソップ寓話集。
- ・ 上田敏、「伊曾保物語考」と題して史学研究会第三回総会において講演する（11月27日）。
- ・ 中村徳助『世界新お伽』（盛林堂、12月）刊行：34話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 普光社『英文イソップ物語（*Fables from Æsop and Others*）』（普光社）刊行：イギリスのMacmillan社発行のイソップ等の寓話集を日本人向けに刊行する。

1911（明治44）

- ・ 西垣克則『伊蘇普物語二百話』（立川文明堂、1月）刊行：George Fyler Townsendの*Three Hundred Æsop's Fables*、Charles Stickneyの*Æsop's Fables*から200話を選んで翻訳したイソップ寓話集。
- ・ 天籟山人『新お伽十八番』（岡村書店、2月）刊行：1話のイソップ寓話の改作を載せる。
- ・ 鈴木源四郎『少年教育修身はなし 動物の巻』（大川屋書店、3月）刊行：113話のイソップ寓話を載せる。
- ・ 稲葉翠浪『新式イソップものがたり』（稲葉隣作、4月）刊行：全129話の寓話集。多くはイソップ寓話の改作。
- ・ 旧雨楼校注十銭文庫第5編『^{万治}_{旧版}伊曾保物語』（百華書房、5月）刊行：万治二年刊整版の仮名草子『伊曾保物語』の頭注付翻刻。
- ・ 鈴木正士訳、杉山孫之助註『イーソップの話 第二』（英語研究社、6月）刊行：『イーソップの話（第一）』の続編。35話を収める。1913年（大正2）には、この続編『第三 イーソップの話』が刊行されている。
- ・ 新村出『文禄旧訳伊曾保物語』（開成館、6月）刊行：『エソポのハブラス』の翻刻。
- ・ 菅野徳助・奈倉次郎『伊蘇普物語 一』（青年英文学叢書）（三省堂、8月）刊行：Charles Stickneyの*Æsop's Fables*の第43話までの学習参考書。これの続編『伊蘇普物語 二』が1913年（大正2）に刊行されている。
- ・ 巖谷小波『イソップお伽噺』（三立社、8月）刊行：全160話を収めるイソップ寓話集。
- ・ *New Selection from Æsop's Fables*（宝文館、10月）刊行：全50話の英文イソップ寓

話集。

1912（明治45・大正元）

- ・ 「裕仁新イソップ」(『昭和天皇実録』3月16日)：数え12歳の裕仁親王（後の昭和天皇）創作の動物寓話。内容は不明。『昭和天皇実録』1913年（大正2）1月18日の項にも「白熊と獅子」という寓話創作の記載がある。
- ・ 高木敏雄『新イソップ物語』（宝文館、3月）刊行：創作動物寓話集で、イソップ寓話を含まないが、動物寓話に「イソップ」の名を冠していることが注目される。
- ・ 亀田次郎「和刻伊曾保物語の古版本につきて」(『芸文』第三年第三号、3月)
- ・ 上田敏「伊曾保物語考」(『史学研究会講演集第四冊』)（富山房、4月）：1910年の講演の記録。
- ・ 上田万年編『大正改元中学読本』（11月）刊行：1話のイソップ寓話を載せる。
- ・ Charles Stickney：『Æsop's Fables』（興文社）刊行